

スーパーマーケット景気動向調査

2025 年 6 月調査結果（5 月実績）
（2025 年 6 月 20 日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

6月調査（5月実績）結果概況

現状判断 DI は前月水準で推移

5月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断 DI の現状判断は前月から-0.6 の 48.2、見通し判断が前月から-0.8 の 44.4 となり、やや悪化傾向が続くが、共に大きな動きはなく、ほぼ前月水準で推移した。

経営動向調査では、売上高 DI は前月に引き続き二桁プラスを維持、収益 DI は小幅な下落となった。生鮮品仕入原価 DI が低下したものの、食品仕入原価 DI は高止まり傾向が続き、販売価格 DI は高水準での推移が継続している。来客数 DI はマイナス域で推移しているものの、引き続き客単価 DI は高水準を維持している。

カテゴリー動向調査では、相場に落ち着きがみられた青果 DI は大きく低下したものの、それ以外のカテゴリーはほぼ前月同様の水準を維持した。米の価格高騰等により、一般食品 DI は二桁のプラスを維持、高騰する食品の代替としても支持が高い惣菜 DI もプラス圏を維持している。（カテゴリー別動向に詳細掲載）

景況感調査は現状、見通しともに大きな変化はみられなかった。（長期傾向は P11 参照）

5月は前年に比べ土曜が1日多かったものの週末のたびに雨の地域も多く不安定な天候に悩まされた。

米の価格高騰を背景に、関連・代替商品を含め売上伸長が続く一方、他の食品も価格上昇傾向が続いており、買上点数減少、低価格商品へのシフトなど、節約志向の一層の高まりを懸念する声が多くなっている。

競合環境は依然厳しく価格競争は激化しており、持続的なデフレ脱却を実現するのは困難といえよう。食料品の消費税率引き下げなども話題となったが、期間限定では作業増や駆け込み需要とその反動減、物流の混乱などが懸念される。コメ問題も含め、小売業者の負担増を抑えた物価高対策の速やかな実行が期待される。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：48.2 (-0.6)
前月：48.8

消費者購買意欲DI
当月：46.3 (+0.8)
前月：45.5

周辺地域 競合状況DI
当月：44.5 (+0.6)
前月：43.9

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：47.2 (+0.1)
前月：47.1

見通し判断

景気判断DI
当月：44.4 (-0.8)
前月：45.2

消費者購買意欲DI
当月：44.0 (+1.1)
前月：42.9

周辺地域 競合状況DI
当月：43.5 (+1.4)
前月：42.1

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：45.1 (+0.4)
前月：44.7

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：12.1 (-1.8)
前月：13.9

客単価DI
当月：19.5 (+1.9)
前月：17.6

来客数DI
当月：-4.0 (-1.3)
前月：-2.7

収益DI
当月：6.1 (-1.2)
前月：7.3

販売価格DI
当月：24.3 (+0.4)
前月：23.9

生鮮品仕入原価DI
当月：17.7 (+0.2)
前月：17.5

食品仕入原価DI
当月：25.2 (-0.3)
前月：25.5

カテゴリー動向

青果DI
当月：-2.1 (-14.3)
前月：12.2

水産DI
当月：-3.8 (+1.6)
前月：-5.4

畜産DI
当月：3.8 (-0.6)
前月：4.4

惣菜DI
当月：11.6 (-1.5)
前月：13.1

日配DI
当月：3.8 (+0.2)
前月：3.6

一般食品DI
当月：20.2 (+1.3)
前月：18.9

非食品DI
当月：-6.2 (-1.1)
前月：-5.1

※DI 値は前年同月との比較／○内は前月 DI からの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高 DI

前月から小幅に下落も、プラス圏を維持

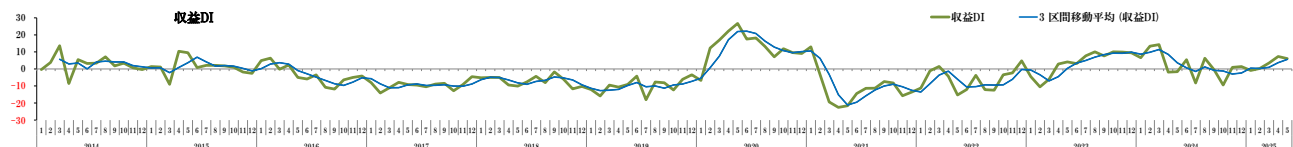
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	3.0	10.4	27.4	46.3	12.8	13.9
売上高 (当月)	2.9	12.1	29.3	45.0	10.7	12.1



2. 収益 DI

前月から小幅に下落も、プラス圏を維持

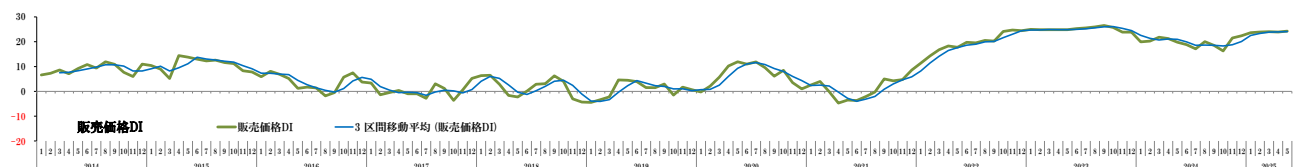
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	4.3	15.5	34.8	37.3	8.1	7.3
収益 (当月)	5.1	19.1	32.4	33.1	10.3	6.1



3. 販売価格 DI

前月から横ばい、2桁プラス水準で推移

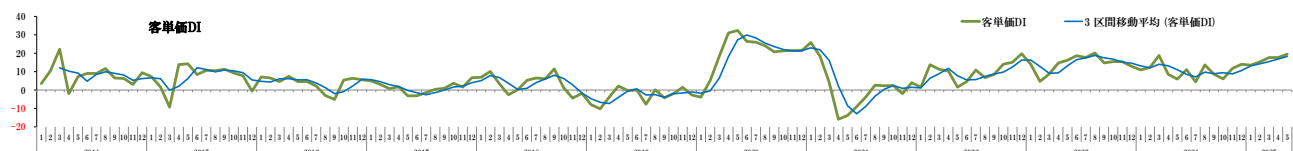
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.6	1.2	13.6	71.0	13.6	23.9
販売価格 (当月)	0.0	0.7	13.1	74.5	11.7	24.3



4. 客単価 DI

前月から小幅に上昇、二桁プラス水準を維持

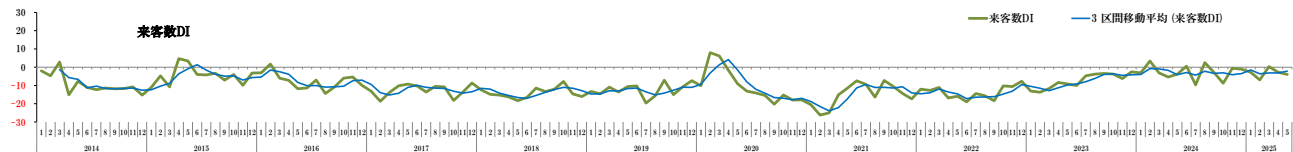
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	4.3	27.0	60.1	8.0	17.6
客単価 (当月)	0.0	5.0	20.7	65.7	8.6	19.5



5. 来客数 DI

前月から小幅に下落、マイナス圏で推移

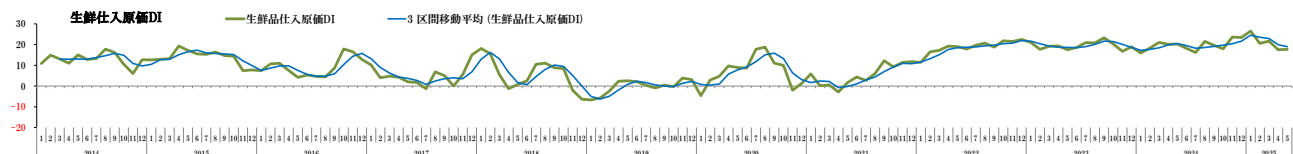
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.9	28.0	43.3	20.7	3.0	-2.7
来客数 (当月)	5.8	28.8	43.2	20.1	2.2	-4.0



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から横ばい、2桁プラス水準で推移

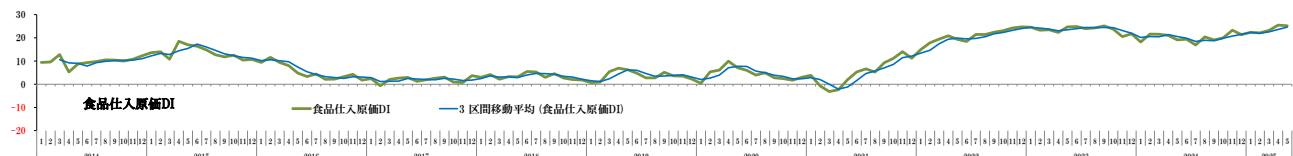
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.6	10.2	17.8	61.1	10.2	17.5
生鮮仕入原価 (当月)	0.0	6.9	23.1	62.3	7.7	17.7



7. 食品仕入原価 DI

前月から横ばい、49 か月連続プラス域

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.0	2.5	13.4	63.7	20.4	25.5
食品仕入原価 (当月)	0.0	2.3	15.3	61.8	20.6	25.2

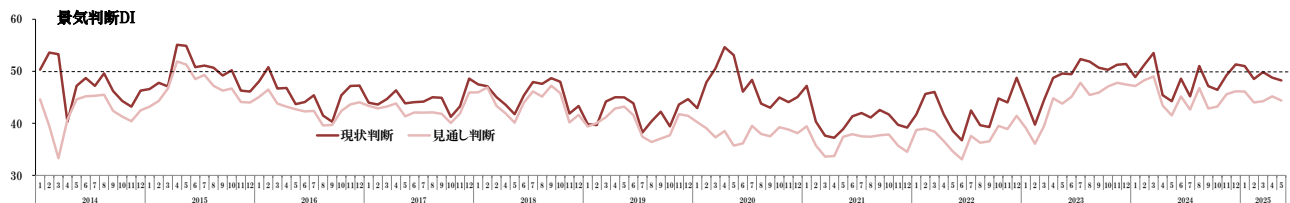


Ⅱ．景況感調査（2014 年 4 月～／周辺地域景気判断 2010 年 4 月～）

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は横ばい、見通し判断は小幅に悪化

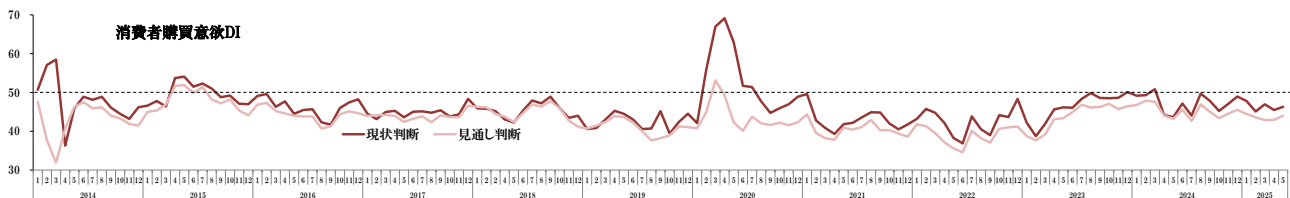
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断（前月）	1.2	16.9	67.5	14.5	0.0	48.8
【現状】景気判断（当月）	2.1	18.3	65.5	12.7	1.4	48.2
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断（前月）	1.8	26.5	60.8	10.8	0.0	45.2
【見通し】景気判断（当月）	2.1	28.9	59.9	7.7	1.4	44.4



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に小幅に改善

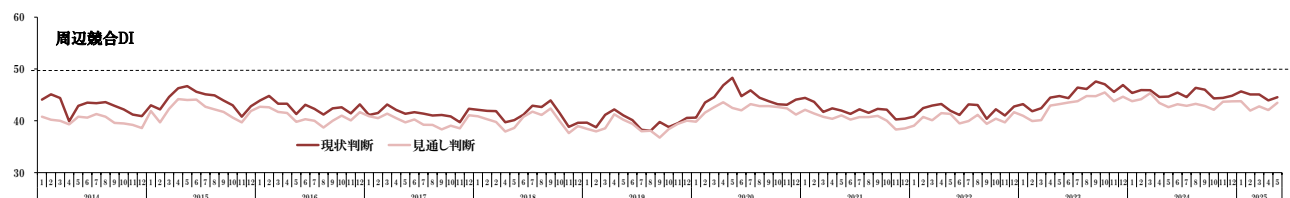
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲（前月）	1.2	21.7	71.1	6.0	0.0	45.5
【現状】購買意欲（当月）	0.7	23.2	66.9	8.5	0.7	46.3
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲（前月）	1.2	29.5	65.7	3.6	0.0	42.9
【見通し】購買意欲（当月）	0.7	28.9	64.8	4.9	0.7	44.0



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共に小幅に改善

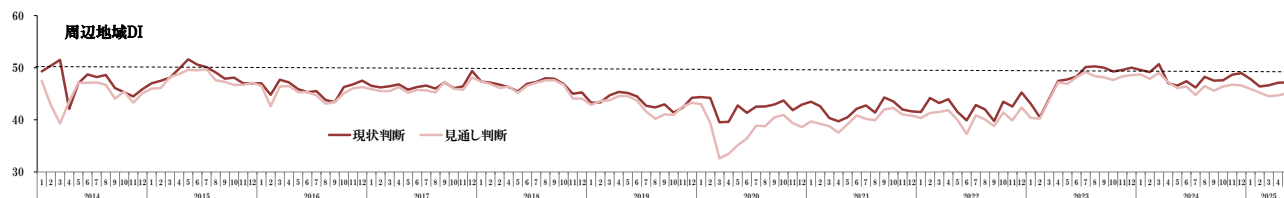
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況（前月）	4.2	18.2	75.2	2.4	0.0	43.9
【現状】競合状況（当月）	3.5	17.6	76.8	1.4	0.7	44.5
回答構成比（％）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況（前月）	4.3	24.4	70.1	1.2	0.0	42.1
【見通し】競合状況（当月）	3.5	21.8	72.5	1.4	0.7	43.5



4. 中核店舗周辺地域景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に横ばい

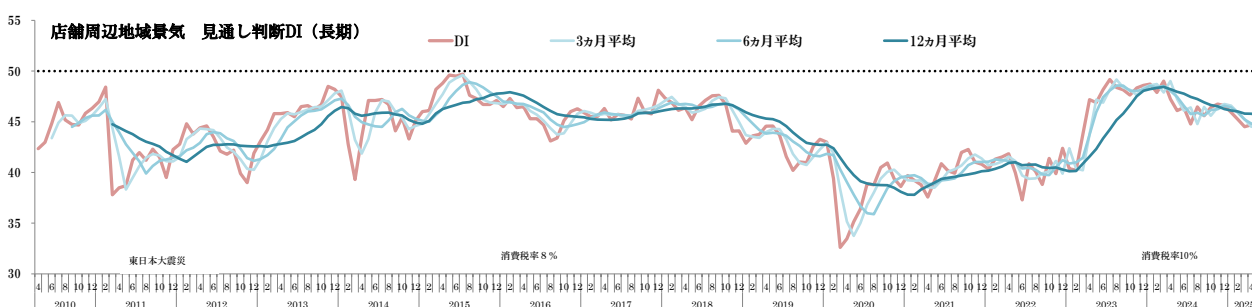
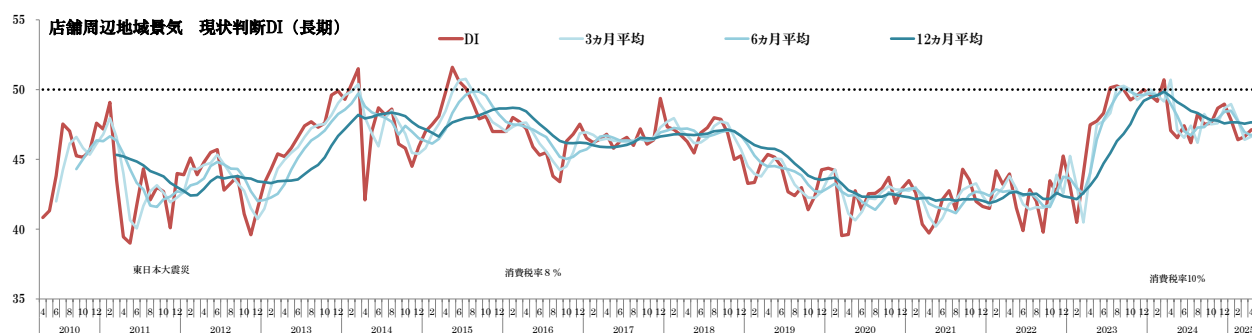
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	15.2	81.2	3.6	0.0	47.1
【現状】地域景気(当月)	0.7	12.0	85.2	2.1	0.0	47.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	24.2	72.7	3.0	0.0	44.7
【見通し】地域景気(当月)	0.0	21.8	76.1	2.1	0.0	45.1



・中核店舗周辺地域景気判断 DI 長期傾向 (2010 年 4 月～)

周辺地域景気判断 DI は 2011 年 3 月の東日本大震災以降低迷が続けたが、12 年 11 月から 16 ヶ月にわたる改善が続き、14 年 3 月は現状判断 DI が 51.5 を記録。14 年 4 月の消費税率 8% 引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、15 年 5 月には現状判断 DI は 51.6 に達し、調査開始以来の最高値を更新した。その後 15 ヶ月間にわたり悪化傾向は続き 16 年 9 月には、現状判断 DI は 43.4 まで低迷した。

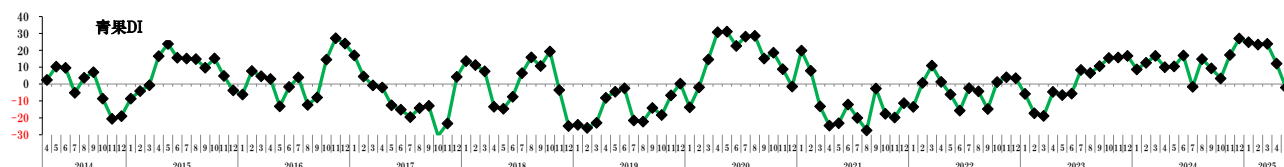
以後方向感の乏しい推移が続いたが、18 年の後半から悪化傾向が顕著となり、19 年 7 月には現状判断 DI は 42.3 まで低下した。21 年は、感染状況により上下する動きとなった。22 年は、感染が再拡大した 7 月以降に大幅な改善をみせた。23 年も改善が続き、7 月には判断の分かれ目である 50 を突破、その後も高水準を維持した。24 年前半に悪化したものの、後半は緩やかな改善傾向が続いた。25 年はダウントレンドが見られるが、3 月まで悪化幅は限定的となっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果 DI：-2.1（やや不調）

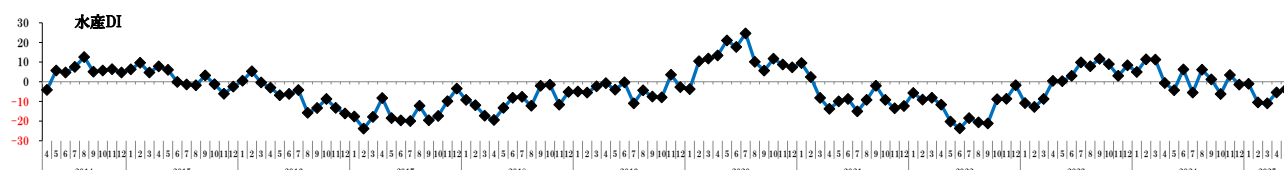
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.3	17.1	27.8	39.2	14.6	12.2
青果（当月）	4.5	35.3	30.8	22.6	6.8	-2.1



青果相場が全体的に落ち着き、葉物や果菜類など主力野菜の単価が伸び悩み、販売数量は増加したものの、売上としてはやや不調となった。サラダ関連野菜は気温が低めで動きが鈍く苦戦した一方、じゃがいもやたまねぎをはじめとする土物類、根菜類、きのこ類は供給と価格が安定し、好調に推移した。国産果物では、いちご、りんご、メロンが概ね好調に推移した。スイカは気温の低さや高値の影響で不調とのコメントが多かった。さくらんぼは、出荷の遅れで不調となった。輸入果物ではキウイやバナナが良好な動きをみせた。

2. 水産 DI：-3.8（やや不調）

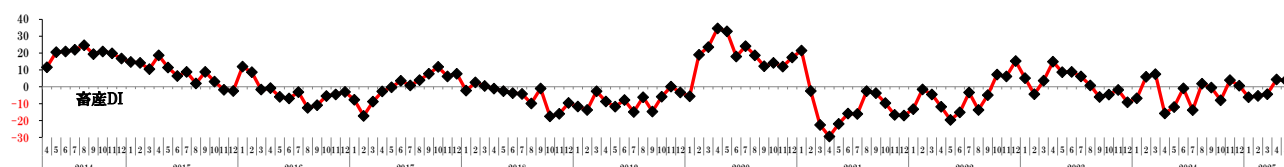
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	5.8	39.1	29.5	22.4	3.2	-5.4
水産（当月）	6.8	32.6	33.3	23.5	3.8	-3.8



相場は引き続き高めで割高感が強く、生魚の入荷も不安定で苦戦が続く。刺身類は大型連休を中心に好調との声もあったが、地域差も見られた。カツオは入荷や相場の変動により好不調が分かれている。うなぎは国産品が価格高騰で伸び悩み、輸入品は堅調に推移。ブリは相場高で販売が伸び悩み、ほたては大幅な相場高で大きくマイナスとなった。わかめ、もずくなどの海藻類や味付け加工品、冷凍加工品は即食・簡便ニーズに支えられ好調。一方、シラスの不漁により小魚カテゴリー全体が低迷し、魚卵・塩干も厳しい状況が続く。

3. 畜産 DI：3.8（やや好調）

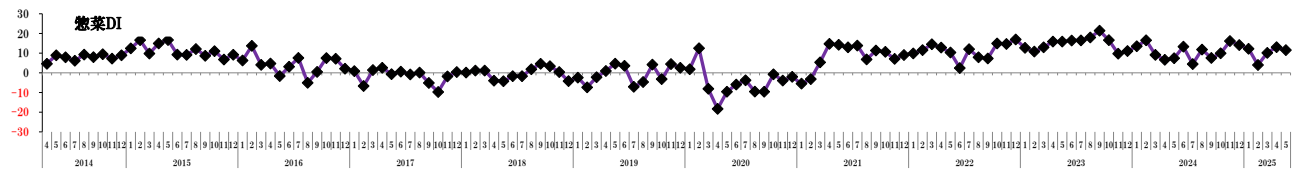
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	5.8	20.0	36.1	27.1	11.0	4.4
畜産（当月）	4.5	23.5	32.6	31.1	8.3	3.8



全般的に相場高が続き、豚肉・鶏肉への需要シフトが継続しているが、前年からの反動もあり改善傾向がみられた。牛肉は依然として厳しい状況が続くものの、切り落としや味付肉など低価格・簡便な商材は好調に推移した。連休・母の日のステーキ・焼肉などハレの日関連は好不調が分かれた。国産豚の価格上昇が続く一方、前年不振だった輸入豚が好調に推移した。鶏肉はブラジルの鳥インフルエンザの影響もあり高騰傾向が続き、利益確保に悩む店舗が多くなっている。

4. 惣菜DI：11.6（好調）

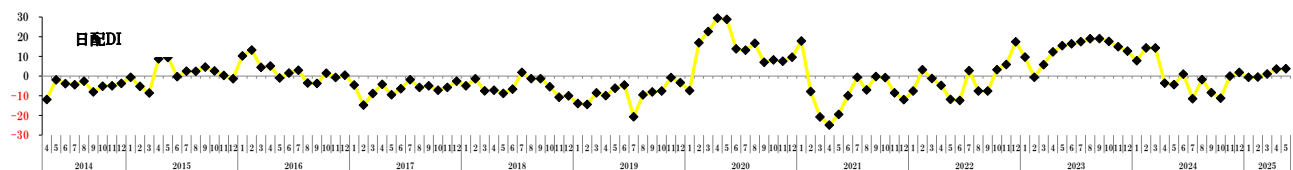
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	1.3	9.7	35.5	42.6	11.0	13.1
惣菜（当月）	2.3	10.6	35.6	41.7	9.8	11.6



コメ価格高騰により、米飯類が引き続き好調に推移したものの、寿司類は単価上昇で不調とのコメントも。揚げ物・てんぷら類は堅調に推移し、行楽関連惣菜は多くの店舗で好調だったが、週末に降雨が続いた影響も一部で見られた。サラダ関連や冷惣菜は青果相場の落ち着きと気温低下により伸び悩みもみられた。差別化や利益確保に向け商品ラインナップの見直しや独自商品の開発に取り組むとの声も多く見られる。

5. 日配DI：3.8（やや好調）

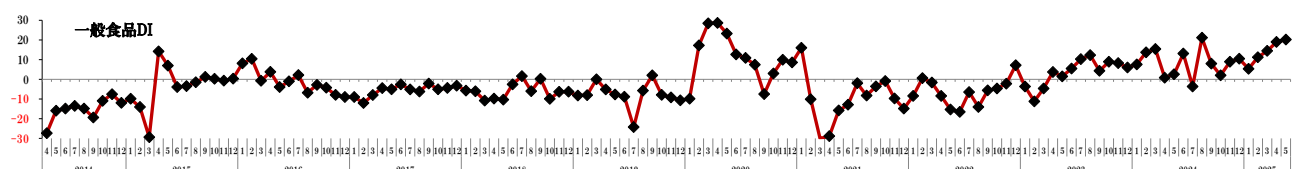
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	1.9	22.8	39.9	29.7	5.7	3.6
日配（当月）	3.8	18.2	43.2	28.8	6.1	3.8



寒暖差の影響で、温冷の品揃えに苦慮したとの声が多かった。鶏卵は価格高騰が続き、好調に推移。コメ高騰に伴いチルド麺類が好調。納豆や豆腐などの値ごろ商品は動きが良好だが、競合との価格競争激化が指摘された。気温低下の影響でアイス、牛乳は不振。青果相場の落ち着きにより、冷凍野菜は伸び悩んだ。洋日配ではヨーグルトが機能性訴求品を中心に好調を維持し、パン類はコメの代替品として、関連商品とともに好調とのコメントがみられた。

6. 一般食品：20.2（かなり好調）

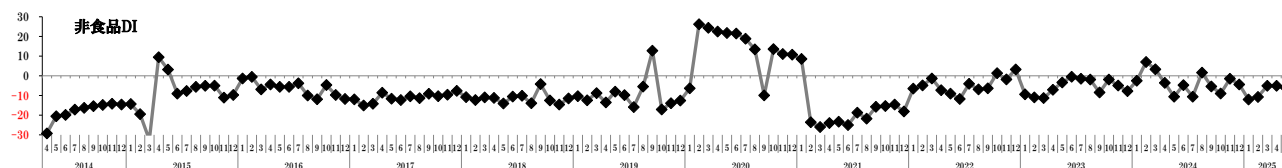
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	1.3	10.8	24.2	38.2	25.5	18.9
一般食品（当月）	1.5	5.9	26.7	42.2	23.7	20.2



米の価格高騰や供給不足が続き、売上高は高止まり。一方で、下旬の随意契約備蓄米放出の報道で買いため傾向に減速がみられるとの声も。レンジ米飯、餅、パスタ、インスタント麺類などの関連商品も好調を持続。乾麺はコメ代替ニーズがあるものの気温低下で苦戦した店舗も。調味料は値上げの影響もあり不振が続く。菓子類は販促効果で好調な店舗が多い。低温の影響で飲料は不振だが、値上げ後のインスタントコーヒーは順調に推移している。酒類は値上げ後の反動減が見られた。

7. 非食品 DI：-6.2（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.5	29.4	39.9	18.3	3.9	-5.1
非食品（当月）	10.3	28.6	39.7	18.3	3.2	-6.2



値上げの影響が落ち着いてきたティッシュペーパーやトイレトペーパーなど紙製品は単価上昇を追い風に比較的好調に推移した店舗が多い。家庭用洗剤の動きはよいが、防虫剤など季節商材は伸び悩んだ。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20 好調： 20 ～ 10 やや好調： 10 ～ 0
 やや不調： 0 ～ -10 不調： -10 ～ -20 かなり不調： -20 ～

2025 年 6 月調査（5 月実績）キーワード TOP3

1. 米価格の高騰（食品値上げ）
2. 上旬と下旬の気温が前年よりやや低い
3. 連休が一日多い、土曜日が一回多い

（参考）2024 年 6 月調査（5 月実績）キーワード TOP3

1. 値上げの影響一巡
2. 青果・畜産相場の高騰
3. 節約志向の高まりによる点数減

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

5 月実績速報版 166 社
 4 月実績確報版 142 社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp